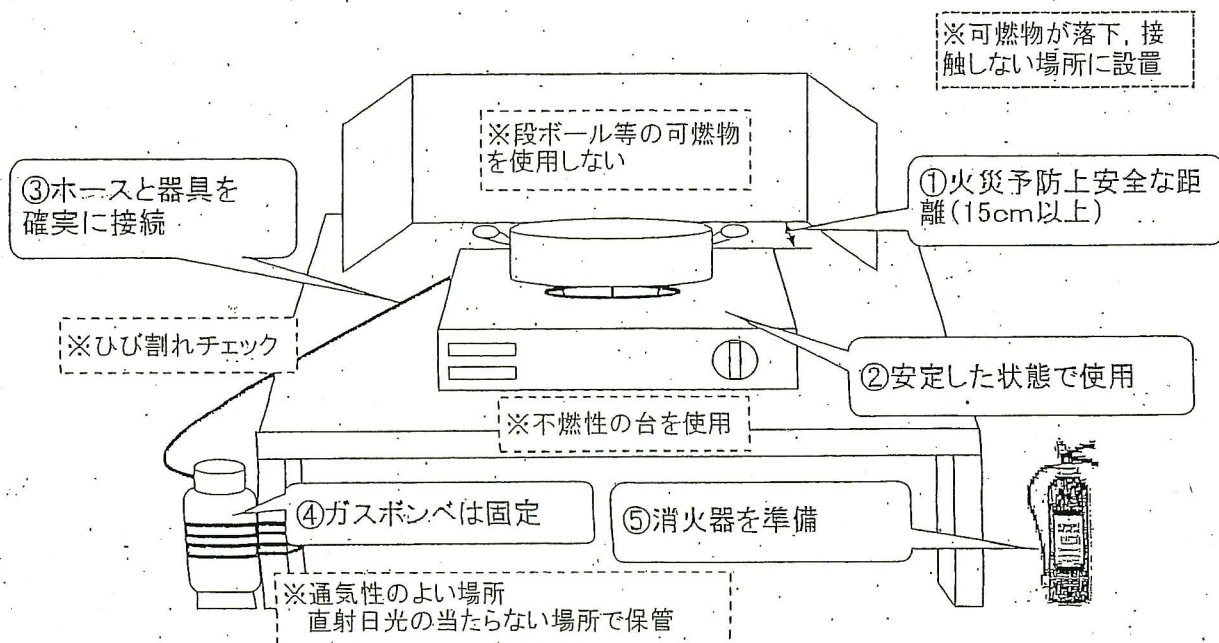


# 火気を使用する設備の 取扱い等に係る火災予防上のポイント



## ① 火災予防上安全な距離をとりましょう。

火気使用器具は、建築物や可燃性の物品から火災を予防上安全な距離(15cm以上)を保ち、火気使用器具の周囲は、整理及び清掃に努めるとともに燃料等その他の可燃物を放置しない。  
 ※ 段ボール等の可燃物を使用して風除けを作らない！  
 ※ カセットコンロを使用する場合は、鍋や鉄板がカセットコンロ全体を覆うくらい大きいと鍋や鉄板の熱がカセットボンベに伝わる恐れがあるので危険です！

## ② 火気使用器具は安定した状態で使用しましょう。

火気使用器具は、地震等により容易に転倒または落下する恐れのないように使用する。

## ③ ホースと器具は確実に接続しましょう。

燃料配管に使用する可燃性のホースは、器具との接続部をホースバンド等で締め付けるとともに、器具に応じた適正な長さで接続しましょう。  
 また、劣化した古いゴムホース等は使用しない。

## ④ ガスボンベは固定しましょう。

ガスボンベは、地震等により容易に転倒することのないよう周囲の固定物に固定する。

## ⑤ 消火器を準備しましょう。

火災が発生した場合に備え、火気使用器具の近くに消火器を準備する。

問合せ先

北消防署 029-221-0117